

HUMPBACk engineering

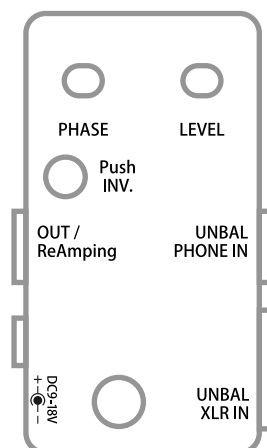
PHASE ADJUSTABLE BOOSTER

OVERVIEW

本機は、内蔵のトランスによる電圧ブーストおよびインピーダンス変換機能と、信号の位相を調整する機能をひとつにまとめた楽器用ブースター／リアンピングボックスです。

Specification

入力Z : 2.3MΩ
ブースト量 : 15dB (LEVEL最大時)
最大入力 : 11dBu (9V)
 : 17dBu (18V)
電源電圧 : DC9~18V
 (センターマイナス)
消費電流 : 6mA



• ON/OFFスイッチ

回路のオン/トゥルーバイパスを切り替えます。

• UNBAL PHONE IN, XLR IN

信号を入力します。(XLR入力は2番ホット、3番は無接続)

各入力は排他利用 (PHONE優先) となります。

最大入力レベルは電源電圧によって変化します。

過大入力により好ましくない歪みが発生した場合は、DC18Vのアダプターをお試しください。

• OUT / ReAmping

信号を出力します。内蔵のトランスを信号が通過することで、ギター、ベースにはもちろん、ライン信号にも音楽的な厚みを加えることができます。

ライン録音したギター／ベースをオーディオIFからアンプへ出力する際、本機を通すことで、楽器を直接アンプに接続するときに近いインピーダンスバランスを再現できます。

エフェクターなどでバッファされた信号をアンプに入れる際にも、同様の効果が得られます。

• LEVEL

出力レベルを調整します。

内蔵トランスによる昇圧で、最大15dBのブーストが可能です。

• PHASE

信号の位相を調整します。

※つまみ位置0~1あたりでつまみを動かすと、ピッチが変化したように聞こえるポイントがありますが、正常な回路動作によるものです。

• INV.スイッチ

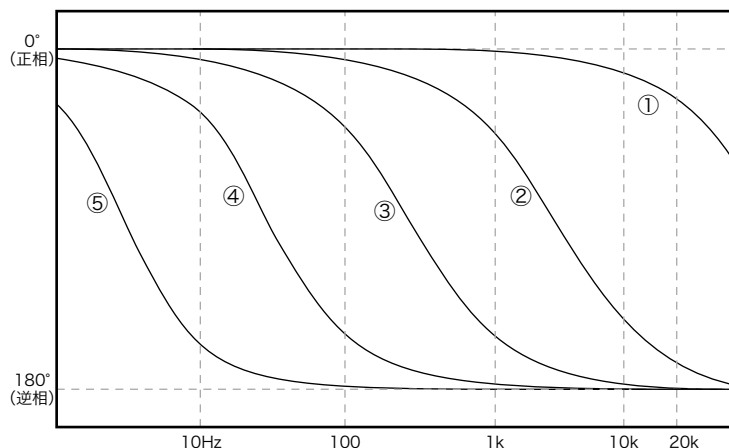
信号の位相を反転します。

PHASEつまみとINV.スイッチの動作については、右上のグラフも合わせてご覧ください。

☆セッティングのコツ

- INV.スイッチオフ、PHASEを0、LEVELは適宜
- PHASEつまみをゆっくり上げていくと、音がぐいっと前に出てくるポイントがあるので、見つけたら一旦メモる
- INV.スイッチを押して位相を反転し、オフの時と同じように音が前に出てくるポイントを探してメモる
- INV.スイッチのオンオフそれぞれのポイントと比較して、よりよいサウンドに聞こえるほうを採用！

PHASEつまみの動作イメージ (グラフは参考程度)



- ① PHASEつまみ0。超高域で位相が回転し始めています。
- ②~④ つまみを上げていくと、位相が反転する周波数ポイントがどんどん下がっていきます。
- ⑤ つまみ最大。20Hz付近まで位相が反転します。

INV.スイッチをオンにした場合は、グラフの正相と逆相を入れ替えたものに近い動作イメージとなります。